

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		入札契約事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060503000063
						単独/補助	単独		020201
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	財政課
総合計画の施策名		0605 健全な財政運営の推進						課長名	
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	管財契約G
施策名		05 健全な財政運営の推進						担当者名	
手段名		03 ③効果的な予算執行							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	07	01	00	財産管理事業		
						単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、財務規則及びその他条例・規程・規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>入札契約事務は、一定金額以上の工事、業務委託の発注及び物品の調達等において、①入札案件を取りまとめ②入札参加業者選考委員会の開催③一般競争入札や指名競争入札、見積合わせの執行、④落札業者と契約締結までを行う一連の事務である。</p> <p>【事業費の内訳】 (実績)</p> <p>入札管理システム賃借料 198,000円          JCISシステム利用料 132,000円          電子通知システム使用料 132,000円          コンシェルジュデスク利用料 29,040円          入札業者管理システム改修業務委託 264,000円</p>	<p>入札や契約に関する法令等に基づく業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加業者選考委員会の開催 (月2回)</li> <li>指名通知書の送付、一般競争入札の公告</li> <li>競争入札、見積合わせの執行</li> <li>契約の締結</li> <li>入札結果及び契約内容の公表</li> <li>職員や業者に対して入札契約事務に係る指導</li> <li>公共工事の年間発注見通しの公表 (年2回)</li> <li>入札参加資格審査の申請</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共工事の年間発注見通しの公表 (年2回)</li> <li>入札参加業者選考委員会の開催</li> </ul> <p>競争入札の執行及び随意契約による契約。入札結果及び契約内容の公表。職員や業者に対して入札契約事務に係る指導。</p>	工事契約件数	件	89.00	78.00	80.00	80.00	80.00
	業務委託契約件数	件	182.00	201.00	200.00	200.00	200.00
	物品購入契約件数	件	40.00	42.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<p>1) 入札参加資格を取得している業者</p> <p>2) 市役所内部の業務担当課</p>	入札参加資格者数	社	2,484.00	2,541.00	2,541.00	2,541.00	2,541.00
	業務担当課数	課	37.00	38.00	38.00	38.00	38.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<p>入札により公正性、競争性、透明性を高め、公共事業を適正に契約する。</p>	不調件数	件	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	実際結んだ契約件数/当初契約件数	%	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0		
		県支出金 千円	0	0	0		
		地方債 千円	0	0	0		
		使用料・手数料 千円	0	0	0		
		その他 千円	0	0	0		
		一般財源 千円	491	756	532		
	事業費計 (A) 千円	491	756	532			
	正規職員従事人数 人	4.00人	4.00人	4.00人			

04年度事業費 実績 (千円)		05年度事業費 予算 (千円)		
12 委託料	264	13 使用料及び賃借料	532	
13 使用料及び賃借料	492			
	合計	756	合計	532

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する			

事務事業名	入札契約事務	事務事業No.	60503000063	所属課	財政課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 法律に基づく事務事業 自治体が業務を開始した時期と同時期に開始された。公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、入札契約制度の公平性が求められている。桜川市では、平成19年4月から130万円以上の入札で予定価格を事前公表し、平成23年度に総合評価方式入札を導入、平成24年度から一般競争入札の対象を拡大（1,000万円以上の工事）している。令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵便入札を実施した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 電子入札の導入の要望及び条件付き一般競争入札の参加範囲の拡大と対象工事の設計金額の引き下げ					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 入札事務は専門性の高い事務のため、一定金額以上の入札契約行為を財政課で行うことは効率的な自治体運営に結びつく。また、入札参加業者選考委員会の開催及び入札結果等の公表により公平性、透明性を確保している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公共事業の入札・契約であるため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 法律、条例、規則に基づき公平性、透明性を担保しており、成果を向上させる余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 公平性を担保した工事請負、業務委託、物品購入ができなくなり、適切な予算の執行ができなくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名   建設工事等入札参加審査事務 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 建設工事等入札参加審査事務(事務事業No.64)は、今事業の一環としてある事業であるため、連携できる余地がある。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない システムとサーバーの使用料であり、事業費の削減はできない。また、業務時間については常に効率化を図っており、削減はできない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市が行う事業であり、受益者負担は発生しない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	指名競争の指名通知を電子メールで送付するようになり事務の効率化が図られた。また、コロナウイルス感染症の拡大防止のため郵便入札を取り入れた。入札契約制度は常に改善が求められており、桜川市の現状にあった入札制度に見直ししていく必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 電子入札の導入及び条件付き一般競争入札の参加範囲の拡大と対象工事の設計金額の引き下げなど建設業組合等からの意見や他市町村の制度などを参考に受発注者双方が向上する取り組みを行う。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>